Q 02 食品中の放射性セシウムについて、新たな基準値が設定されると聞きましたが本当ですか？

A 本当です。現在の暫定規制値によっても、食品の安全性は確保されていますが、より一層の安全と安心を確保するため、新たな基準値が設定されます。

見直しの考え方

●現在の暫定規制値に適合している食品は、健康への影響はないと一般的に評価され、安全が確保されていますが、より一層、食品の安全と安心を確保する観点から、現在の暫定規制値で許容している、年間線量5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに基づく基準値への引き下げが行われました。

●食品の区分についても、特別な配慮が必要と考えられる「飲用水」、「乳児用食品」、「牛乳」を区分し、それ以外の食品を「一般食品」とし、全体で4区分としました。

見直しの内容

具体的な見直し内容は、下記の表のとおりです。食肉は、一般食品に区分され、新基準は「100ベクレル／kg」となります。

◆ベクレルとシーベルトの違いは？

●「ベクレル(Bq)」とは、放射性物質が放射線を出す能力を表す単位をいいます。

●「シーベルト(Sv)」とは、放射線による人体への影響の度合いを表す単位をいいます。

●放射線が人体に与える影響は、放射性物質の放射能量（ベクレル）ではなく、放射線の種類、エネルギー量などを考慮した数値（シーベルト）で比較する必要があります。

＜暫定規制値＞

食品群	規制値（ベクレル／kg）
飲料水	200
牛乳・乳製品	200
野菜類	500
穀類	
肉・卵・魚・その他	

＜新基準値＞

食品群	基準値（ベクレル／kg）
飲用水	10
牛乳	50
一般食品 野菜類・穀類 肉・卵・魚など	100
乳児用食品	50

Q02 食品中の放射性セシウムについて、新たな基準値が設定されると聞きましたが本当ですか？

前ページの続きです

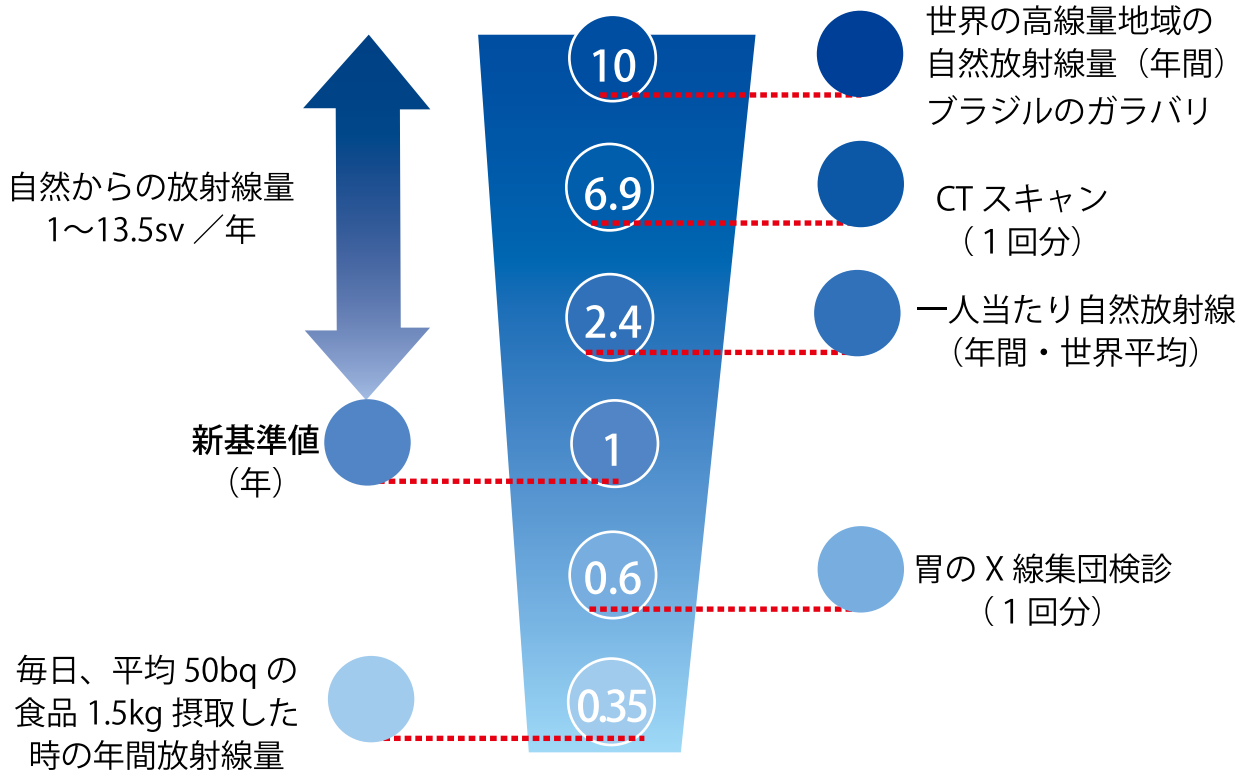
◆ベクレルとシーベルトの換算について

食肉、野菜、魚などに平均 50 ベクレル/kg の放射性セシウム 137 が含まれていたと仮定し、これらを毎日合計 1.5kg 摂取したとして計算すると…

年間で 約 0.35 ミリシーベルト（mSv）となります。

計算式

50 ベクレル（bq）×（1.3×0.00001*）×1.5 kg ×365 日＝0.3559 ミリシーベルト（mSv）

＊セシウム 137 におけるミリシーベルトへの換算係数

日常生活と放射線（単位：ミリシーベルト＝mSv）